

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2007. 10. 17

人・街・ながた震災資料室

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

2007秋の震災資料室展

～長田区の火災被害について考えてみよう～

日時:2007年11月21日(水)～11月27日(火)

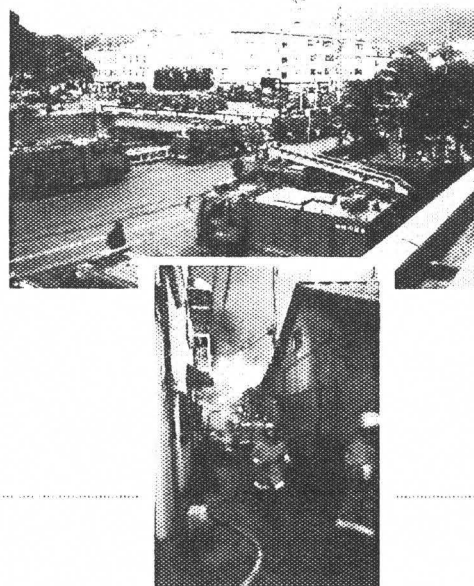
9時～17時 (土・日・祝日もご覧いただけます)

場所:長田区役所7階区民ギャラリー・大会議室ほか

昨年はのじぎく兵庫国体スポーツ芸術競技として「寅さん長田に帰る—阪神淡路大震災の記録展」を開催し、震災から復興しようとする長田の、被災地の人々に希望を届けた「寅さん」と人と人が支え合う大切さを観ていただきました。

今年は建物倒壊だけでなく、震災に伴う火災が長田区で圧倒的に多く、より大きな被害が発生したこと、また一地域での火災被害が大きかったために区内全体の被害の様子がわかりにくくなっているのではないかと考え、「火災被害」に注目し展示をします。

ぜひご覧になってください



★JICA 研修生のアンケートより★

前号でお知らせした、当資料室に来られた JICA 事業の研修生の方々に、見学後アンケートと感想を記入していただきました。その一部を紹介します。

(原文は英語、翻訳:杉山あゆみ)

- ・ 地域コミュニティによる災害展示の研修はとても印象的だった。地域コミュニティのはたらきが良く感じられた。(パキスタン男性)
- ・ 災害に対して前もって準備することが重要であると感じた。子供たちからさえも数多くの貢献が見て取れた。今日の研修は地域コミュニティ内での(大災害時の)自力救済の可能性を示してくれた。(スリランカ男性)
- ・ 大変興味深く感じました。特に災害への対応に関しては新しく得る知識が多くありました。(インドネシア女性)

*山形県の小松均さんからカンパをいただきました。ありがとうございました。

歴史の街・駒ヶ林町の人口動態

4 回の国勢調査を比較して⑪

阪神淡路大震災で全焼・全壊した建物の多くは大正時代に建てられたものが多いと述べた。駒ヶ林町も歴史のある古い街で例外ではない。その昔駒ヶ林村には 62 の小字があったが海岸に面した部分が駒

ヶ林町になり 1 丁目から 6 丁目が東西にあり、その真ん中を高松線が走っている。家屋の建てられたのが明治とか大正時代が多いことや細街路の形状からして海辺の方が元々の村落であったようだ。長田区で唯一港を抱えている街で、1178（治承 2）年、平清盛が宮島参詣の途中に和田岬をまわり駒ヶ林（小馬林）に上陸したように、古代からの船着場（大輪田の泊の一部）で 1961（昭和 36）年 7 月に長田港築造完成開港式が行われている。

	1955	1965	1975	1985	1990	1995	2000	2005	05/ピーク (' 65)
世帯数	2,248	2,598	2,448	2,067	2,017	1,381	1,472	1,458	0.56
人口	9,255	9,692	7,595	5,456	4,851	3,432	3,317	3,091	0.32
区世帯数	45,146	57,186	58,790	53,730	52,948	37,979	45,928	46,808	0.82
区人口	189,767	214,325	185,971	148,590	136,884	96,807	105,464	103,771	0.48

ところで、この街は 1938（昭和 13）年の阪神大水害と先の大戦の空襲の被災から免れた地区で、今回も全壊率 29.4%と平均より低い。

	全壊率%	半壊率%
駒ヶ林町	29. 4	34
区平均	44. 9	20

さて、人口動態表を見てみよう。ポイントは 1965 年と 1995 年と 2005 年である。駒ヶ林町の人口のピークは長田区のピークと同じ 1965（昭和 40）年で 9,692 人になっている。街を歩くと大正時代に建てられた家々と震災後の家、そして昭和 30 年代の建物が目に付く。30 年代はいわゆる日本が高度成長の時であり、世帯数が 350 増加し人口も 437 人増で単身者が多いことが分かる。そして '65 年以降、人口は減り続け 10 年後には世帯人員は、3.73 人から 3.1 人になっている。'95 年の震災による減少は区と同じ 29%減で、その後も 3%、7%と減少している。ところで駒ヶ林町のり災率は全・半壊率は 63.5%であるが、全壊率は 29.4%で区よりも低いがその分半壊率が高い。解体された家屋の跡は公道に面している所はガレージになったり、建替ええられたりしているが道幅 1m 前後の細街路に面した所は空地のままになっている。

地区には駒ヶ林神社やえびす神社、源平の戦跡の腕塚堂など歴史的建物があり、歩いてみると魅力を感じる古の街である。

